

キラビト

溪仁会グループの現場でキラリと輝く職員、それが「キラビト」です。
職場を支える個性豊かなバイタリティを持つ「キラビト」たちをご紹介します。

手稲つむぎの杜
ユニットリーダー
介護福祉士

たきざわ かすみ
瀧澤 香純



介護は、人と人との心のふれあい。
自分らしく、みんなをサポートしたい。

手稲つむぎの杜は、10名を1つのグループに分けて、それぞれの入居者さんに合わせたケアを提供する「ユニット型」の特別養護老人ホームです。私は4つあるユニットの1つで、ユニットリーダーとして入居者さんのケアや後輩の指導にあたっています。介助と指導の両立は大変なこともあります。人に教えることは自分の勉強にもなり、介護の現場でも役に立っています。

私が介護職をめざしたのは、大切な人が事故で半身不随になってしまったことがきっかけでした。未経験で飛び込んだ介護業界で右も左もわからず苦労していましたが、先輩や上司のアドバイスをとても助けられました。いまは自分が後輩を指導する立場となり、「どうしたらうまく介護のことを伝えられるだろうか」と考えながら仕事をしています。介護職は勤務の時間帯がバラバラなため、後輩と一緒にあったときは、できるだけ声をかけてコミュニケーションを図っています。話をして交流することで、自分とは異なる意見や考え方を聞けるのはもちろん、それぞれが知る入居者さんの個性を共有することも

でき、よりきめ細やかな介助にもつながっています。また、よいところがあればどんな小さなことでも「ほめる」ように心がけています。指導を通じて、少しでも後輩が仕事に自信を深めてくれたらうれしいです。

介護は、人と人との交流やふれあいです。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で外出や面会もままならない状況が続いていますが、私たち職員が入居者さんの話し相手になることで、施設内であってもお一人おひとりの気持ちが通いあう場をつくれたらと思います。私は介護や福祉が大好きなので、これからも体力がつづく限りこの仕事に携わっていきたいです。今後はケアマネジャーの資格取得にも挑戦し、さらに活躍の場を広げたいと思っています。

【介護福祉士】

社会福祉専門職の介護に関する国家資格。介護が必要な高齢者や障がいのある人に対して、スムーズな日常生活が送れるように食事や入浴、排泄、歩行などの介助や介護者からの相談に応じてアドバイスをしたり、介護者を精神面で支える。ケアワーカーと呼ばれることもある。